



一般内科初診外来 - どう学び、どう教えるか 地域住民や施設のニーズに合った 外来診療技術を身につけよう!

日 時：2015年3月1日(日) 13:30~16:00

場 所：東京女子医科大学 総合外来センター5階 大会議室

参加費：無料。託児ご希望の方はご連絡ください。(無料/先着順)

対 象：性別、職種を問わず、どなたでもご参加いただけます。

プログラム

13:00(受付開始)

13:30-13:35

【開会挨拶】女性医師再教育センター長

本学女性生涯健康センター 教授 檜垣 祐子 先生

13:35-13:50

【超高齢化社会と求められる医療の多様化】

(社)日本慢性疾患重症化予防学会 理事 松本 洋 氏

13:50-14:20

【一般内科外来における主訴に関する多施設共同研究の解析と全体像】

聖隷横浜病院 院長 岩崎 滋樹 先生

東京医療保健大学 医療保健学部 医療情報学科 瀬戸 僚馬 先生

14:20-14:30

【結果から見えてきたもの】

女性医師再教育センター 一般内科プロジェクトチーフ

本学学生健康管理センター 横田 仁子 先生

14:30-14:40

【休憩】

14:40-15:45

【シンポジウム】一般内科データをどのように教育に活用するか
～ 地域病院、診療所、それぞれの立場から～

座長：千葉県病院局 理事、千葉県循環器病センター 理事 平井 愛山 先生

女性医師再教育センター 一般内科プロジェクトチーフ 横田 仁子 先生

★ シンポジスト ★

一般社団法人 Sapporo Medical Academy (SMA) 代表理事 岸田 直樹 先生

川崎医療生活協同組合 あさお診療所 所長 西村 真紀 先生

女性医師再教育センター研修修了生

★ 総合討論&座長総括 ★

15:45-15:50

【閉会挨拶】女性医師再教育センター 副センター長

本学東医療センター内科 准教授 小川 哲也 先生

16:00-17:00

【懇親会】



※お申し込み方法などは、裏面をご覧ください。

コミュニケーションスキルには、その人の人間性が大きく反映します。医師にとっても例外ではありません。地域住民のニーズや施設の規模に応じた診療技術を習得し、その場にふさわしい一般内科医としてのスキルを身につけることが大切です。焦点の合った診療経験を積み重ねることは、コミュニケーションスキルの向上にも結びつくのではないのでしょうか。

今回、一般内科初診外来の愁訴の臨床疫学調査から地域住民のニーズが判明致しました。どのように医師はそれに対応することができるのでしょうか？それは医学に対する自分の興味、関心だけで解決は出来ません。この点をみんなで考えてゆきたいと思います。

女性医師再教育センター
一般内科プロジェクトチーフ
本学学生健康管理センター 横田 仁子

シンポジスト紹介



一般社団法人 Sapporo Medical Academy(SMA)
代表理事 岸田 直樹 先生

北海道函館市出身

- 2002年 3月 国立旭川医科大学医学部医学科卒業
- 2005年 3月 手稲溪仁会病院初期臨床研修修了
- 2008年 3月 手稲溪仁会病院総合内科フェロー修了
手稲一ハワイ医学教育フェロー修了
- 2010年 3月 静岡県立静岡がんセンター 感染症科フェロー修了
- 2010年 4月 手稲溪仁会病院 総合内科・感染症科
感染症科チーフ 兼 感染対策室室長
- 2014年 4月より現職



川崎医療生活協同組合 あさお診療所
所長 西村 真紀 先生

- 1997年 東海大学医学部卒
王子生協病院初期研修
生協浮間診療所にて家庭医療研修
- 2000年 女児出産
- 2001年 日本プライマリ・ケア連合学会
認定家庭医療専門医 取得
- 2006年より現職



女性医師再教育センター研修修了生

育児のため休職しており、復帰にあたって女性医師再教育センターへ相談を行った。2014年3月から5月まで、東京女子医科大学東医療センター内科にて研修を行い、2014年6月より同所属に入局し、医療練士研修生として勤務している。

**女性医師再教育センターホームページの申込フォーム、
もしくは直接お電話でお申し込みください。**

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

★女性医師再教育センター事務局★

- 【TEL】 03-5269-7319 (内線 8382)
- 【FAX】 03-3353-6793
- 【Mail】 saikyoku@twmu.ac.jp
- 【URL】 <http://www.twmu.ac.jp/CECWD/>

